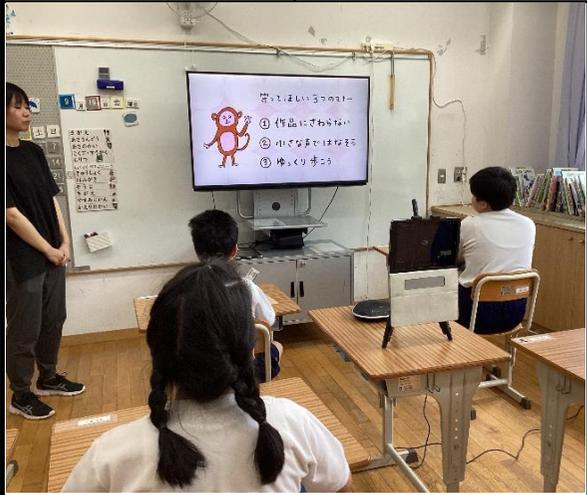


観点・項目	Aコミュニケーション 2. 遠隔コミュニケーション支援	観点・項目	B活動支援 3. 時間支援
	<p>学校に登校することの難しい生徒が宿泊学習の事前学習に参加できるように、Meetを使って双方向型の事前学習をしました。画面越しに声を掛けながら、授業に参加することができました。</p> <p>使用した教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットPC ・アプリ「Meet」 		<p>作業学習の際、作業時間と休憩時間の切り替えに、残り時間が視覚化されたタイマーを利用したところ、スムーズに活動を切り替えることができました。イラストをタッチして、教師に報告することもできました。</p> <p>使用した教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットPC ・アプリ「DROP TAP」 ・アプリ「絵カードタイマー」
単元・授業「宿泊学習の事前学習をしよう」		単元・授業「作業学習 リサイクル班」	
観点・項目	C学習支援 2. 認知発達支援	観点・項目	C学習支援 1. 教科学習支援
	<p>動画編集ソフトを使って、教師の手本動画にアニメーションを追加したところ、画面の上から落ちてくるマークを手がかりにタイミングよく演奏することができました。</p> <p>使用した教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットPC ・アプリ「VITA」 		<p>「kahoot!」を使って、ALTと一緒にクイズ形式で外国語活動をしました。ALTが音読する英語やシルエットを手がかりに手元のタブレットPCを操作しながら、果物の名前を当てるゲームを楽しみました。</p> <p>使用した教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットPC ・「kahoot!」
単元・授業「はるな祭で発表会をしよう」		単元・授業「英語クイズで楽しもう」	